

湯郷渡・下母畑・上母畑の各サロンに参加しましょう！健康寿命を延ばす！

1月7日（火）湯郷渡サロン 17名 参加 講師 井上 真由美（リードシステム）、10日（金）上母畑サロン 21名 参加 講師 岡部 智子（消費生活相談室）、円谷 礼子（中島リハティ）、14日（火）下母畑サロン 16名 参加 講師 円谷 礼子の3サロンでは、脳トレ、健康体操等で一日でも健康寿命を延ばす為に指導して頂いています。



湯郷渡サロン



下母畑サロン



上母畑サロン

令和2年どんと焼き

1月13日（月）9：30からどんと焼きがみんなの農園（母畑自治センター前）で母畑子ども育成会（会長 藤島 広一）主催で行われました。どんと焼きに使用するの鳥小屋は、前日（1/12）子ども育成会の役員の方々が青竹、藁、縄等を持ち寄り作りしました。当日、8時半から正月飾り、注連縄等の受付、鳥小屋に入れ、神主による祝詞・祈願・お祓い等を行い参加者全員・母畑区民の無病息災、ご多幸等を祈願し、火入れをし終了した。



神主によるお祓い



上母畑サロンで「暮らしの相談室」

10日の上母畑サロンで消費生活相談室の岡部智子さんによる「暮らしの相談室」が開催されました。

1月度 白菊学級開催



健康相談（血圧測定）

1月8日（水）13時半から1月度の白菊学級が開催。小針良恵（主任保健師）による健康相談（血圧測定）、定期健康診断結果の相談、健康体操と盛り沢山の内容でした。



イスに座って健康体操

2月の行事

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1日（土）13:30 書道教室 | 15日（土）13:30 書道教室 |
| 4日（火）9:30 湯郷渡サロン
講師：健康リーダー、消費相談室 | 16日（日）8:00 令和仙道三十三観音めぐり
八溝山 日輪寺、聖務蜜山 如意輪寺 |
| 4日（火）13:30 下母畑サロン
講師：小原 千春（保健センター） | 18日（火）13:30 きたす会 |
| 12日（水）13:30 白菊学級 | 21日（金）13:00 母畑地区活き生きクラブ終了式 |
| 12日（水）18:00 民謡教室 | 22日（土）9:30 そば打ち教室 |
| 13日（木）13:30 ハーモニカ教室 | 25日（火）13:30 きたす会 |
| 14日（金）9:30 上母畑サロン
講師：廣田 智（理学療法士） | 26日（水）18:00 民謡教室 |
| | 27日（木）13:30 ハーモニカ教室 |
| | 29日（土）13:30 書道教室 |

編集後記 今年の冬は、地球温暖化で雪らしい雪も降らず、農繁期の水や飲料用の水不足にならない方がいいのだが、本当に今から心配ですね。空気も乾燥し、体調管理も大変ですが風邪を引かないように外出する時はマスクをして自分の体は自分で管理するようにして下さい。

母畑自治センターだより

母衣旗

今月の題字（276）小5 添田 悠月 さん

教育目標

「輝け！

母衣旗」

令和2年 2月

第559号

発行日

令和2年2月1日

発行所

母畑自治センター

責任者

センター長 瀬谷 長一

令和2年母畑地区自治協議会活動経過報告＆新年会開催

1月17日（金）午後6時から母畑自治センターにて令和1年度母畑地区自治協議会活動経過報告と新年会に塩田金次郎石川町長を招き、地元議員、地元各種団体役員、地元町職員、自治協議会委員、支援員、まちづくり委員、企画推進委員等50名の参加を頂き開催しました。

自治協議会活動報告会は、西條悦英区長会副会長（母畑第一区長）が開会のことばを、永沼修一区長会長（湯郷渡区長）が主催者挨拶を塩田町長には「来賓祝辞」と「令和2年度町政についてを合わせて話して頂きました。その中で台風19号で被害に遭われた方達にお見舞いの言葉と母畑地区の道路の悪さを強調し、長石田路線は早急に進めたい、役場職員には愛情を持って対応するように。新年度になると機構改革で防災の取組む部門、農政関係では県職員を登用して強化を図る等の話しを聞かせて頂きました。

その後、「母畑地域づくりについて」に入り、瀬谷長一自治協議会長（センター長）から「令和1年度母畑自治協議会事業経過報告」と「令和2年度地区行事予定（案）について」報告された。自治協議会事業経過報告では、令和1年度中に開催された理事会の内容と区長会と一緒にいった町への要望書提出等について報告された。令和2年度母畑地区行事（案）については、自治センター主催のものを主に話して頂きました。

阿部綾乃巡査部長（石川警察署 地域係）からは、昨年12月1日施行で道路交通法改正により「運転中のスマホ使用が罰則強化」されましたので出席の皆さんに注意するようと話されていました。

自治協議会活動経過報告会は、関根道夫区長会会計（上母畑区長）の閉会ことばで終了しました。

続いて新年会は同ホールで添田安夫自治協議会副会長（企画推進委員長）の司会進行で大串正三区長会副会長（北山区長）の開会のことばで始まり、関根信次町議会議員の乾杯のご発声で懇親会に入り、参加者全員で親睦を深めました。

閉会のことばは関根正夫まちづくり委員長が行い無事終了した。

「令和2年度 母畑地区行事予定（案）」の内、母畑自治センター関係の主な行事をお知らせ致します。

- ・4月 第7回母畑五桜めぐり
母畑地内
- ・6月 7日（日）第51回母畑地区スポーツ大会
母畑レークサイドセンター
- ・7月 26日（日）第9回ねむの木まつり
自治センター平安住居広場
- ・8月 15日（土）母衣旗盆踊り大会
八幡屋社員駐車場
- ・9月 21日（月）第69回母畑地区敬老会
八幡屋
- ・11月 1日（日）第45回母畑地区文化祭・
第8回カカシまつり
旧母畑小体育館



挨拶する塩田町長



報告する瀬谷センター長



注意を呼掛ける阿部巡査部長



乾杯のご発声をする関根議員

平安住居の4本柱補強作業

1月10日（金）先の平安住居修復作業に携わった有志5名（桑沢清、添田嘉隆、桑沢明、塩田利正、桑沢春雄）と角田学（文化振興係長）とで平安住居屋根を支えている柱4本の内3本がシロアリ被害で腐食が進んでいた為、補強作業をして頂きました。（4本の柱はS.59年構築時の物）



有志による補強作業



シロアリ被害の柱

第3回そば打ち教室開催

1月25日（土）そば打ち愛好会（会長 鈴木清一）では、第3回そば打ち教室（二・八 500g）を開催し会員相互のそば打ち技術向上を図った。尚、第4回そば打ち教室（2/22）も行う予定です。



そば打ちに精を出す会員達

町議会報告&町民の意見を聞く会

1月15日（水）19時から母畑自治センターにて第8回町議会報告と町民の意見を聞く会が開催された。表題の会は、町議会で議会の政策形成、団体意思決定、行政監視などの機能を十分に発揮させるために町民に開かれた議会、町民とともにつくる議会を目指す目的の一環として行なっている。

今回の報告会には、議員側が草野伝明議長外6名、事務局1名と母畑区民24名の参加の下行われました。矢内義将議員進行で草野議長からは趣旨説明があり、各議員の自己紹介があった。その後、増子美智夫座長による進行で前年要望事項の回答報告があり、その後に母畑区民から沢山の要望事項が出され、閉会21時まで行なわれました。



議会報告と町民の意見を聞く会

令和元年度石川小学校防犯標語（資料提供は、石川自治センターです）

※母畑地区児童のみ抜粋

No	行政区	学年	名前	標語
1	上母畑	6-1	瀧口 皓太	せまい道 車が通って あぶないよ
2	湯郷渡	6-1	吉田 千裕	周りを よく見て注意 犯罪に
3	上母畑	6-2	高木 茂枝	ネツ友と 会う約束 いいのかな
4	上母畑	6-2	関根 愛	気をつけよう あまいことばは 不審者だ
5	北山	5-1	芳賀 陽	やさしい目 みんなで守る 地域の目
6	北山	5-2	十文字 美紅	あいさつで 安心安全 町づくり
7	北山	5-2	添田 悠月	子と大人 協力すれば 事件ゼロ
8	北山	5-3	大串 杏奈	オレオレと あやしい電話 再確認
9	上母畑	4-1	瀧口 愛弓	家を出る かぎをしめてね かならずだ
10	湯郷渡	4-1	福田 りお	大切な ざいさんまって ぬすまれぬ
11	北山	4-2	十文字 未凧	ぜったいに いかのおすしを まもろうよ
12	母畑第一	4-2	横山 楓空	いろいろな サギがあるから 気をつけて
13	母畑第一	4-3	荒川 空	お金にかかわる電話あやしいと思ったらすぐにつうほうしよう
14	北山	4-3	山寺 快青	電話鳴って 聞いたら悪い電話だ ことわろう

母畑村讀本

下巻 第五課 副業の變遷

すげがさ並べて涼しい声で早苗植え行く村の人の姿も見えなくなつて来た。二百十日も事なくすみ、豊作を告げる村の祭の太鼓も空高くひびいて来る。家には俵が山と積まれる。

我村はこうした平和な中に育つて来た。恰にすつぽをひっかけけるような肌寒い冬の夜に、遠く又近く、聞える寒さの音、ぬくもる焚火に近く縄のう人も今は余程少なくなつて来たようだ。

ボヤット光る行燈のもとで、うなる、つむの音、足どり早い冬の陽を追つて、一心におさを押す女の姿も、どうやら姿が見えなくなつて来た。長い夏の日、短い冬の日、骨身おしまず働く我村にも、日一日と、人はふえ、電氣の世に生れてから、まだ刻々と、人智の進むにつれて、なつかしいおさの音、寒さの音も縄のう手も……とんとついた手搦きは、今は目もまわるような、馬力の強い発動機に變つて終つた。

うず高く蔵に積まれた俵の数も、明治三十五年の不作と日露戦争の後に村人は高い借金に苦しむ、祖先以来の田畑も人手に渡るような有様となつた。その後、物はだんだん高くなり、各家毎に五、六頭の馬を飼つていたが、いつの間にか自然の廣野は耕され、したがつて漸く一、二頭を養つていくに過ぎない。しかしながら近來産馬の改良に熱心なため、良馬の産出も多く年々多数の仔馬をせり場へ出している。大いにこれからも品質をよくして母畑名馬をいなくせねばなるまい。

鶏豚等の養育も十年この方、著しく品種の改良に努力して来た。昔はこれ等のものは、四足といつて、きらつて居たが、只今では鶏卵、豚肉等は皆其の滋養あるを知つて、卵は年々多額の収益を見るようになった。霜柱踏分けながら、石川の専賣局へと運びにぎおう煙草市、これまた我々の産業として数えられる、第一のものである。その産額甚だ多く品種の改良耕作、仕上の研究めざましいものがある。

また私共の村は養蚕には本當に適した土地ではないとゆうけれども、農家の副業としては早くより研究せられ、近年になつて、其の飼育法、桑園風になり特に養蚕組合とゆうものを作り、養蚕教師をたのむなど、次第に成功のよるこびが聞かれるようになった。桑園も畑の三分の一以上あるとゆうからゆるかせには出来ない。

又目をかえて山又山を見るとこれも青々とした山ばかりだ。山には檜桐て年貢を納める事が出来ないからといつて庄屋共へお願いしたけれども、雑木等で一面おうわれて居る。昔から林のある所は村が豊だといつて居るが今の我村はそうである。しかし以前はそうでなかつた。むやみに切り散したものだといつて居る。

大正の御代になつてからは、其の風がだんだんなくなり植林にも意を用いるようになった。それがため、奥山から立ち上る糸のような炭焼の煙は、幾年たつても、消えない、私共の村の煙である。

今回は第六課 島隠居さんの続きを掲載します。

割合に豊かな我村では野菜果物類を賣り歩く事は、其の人を見下げた取扱えをしたようだが、野菜が人間の体に大變滋養になるものである事を知つてからは我先にと賣出しに心掛けるようになった。

このように世の中が進んで来ると、人間は色々の事を工夫して来るものだ。いつも柳の下にどじようが居るとは限らない。

第六課 島隠居さん

こたつに居たら浅川からお爺さんが来た。まだうちでは年始廻りに行かないのに……随分早いもんだと思つた。お爺さんはいつも来ると泊つて行く、そうして、いつも面白い昔話を聞かせるのだ。私はお爺さんのお話に面白くてたまらない。お酒を飲んだり、おもちを食べたりするのが待遠しい。夕飯がすんでみんなこたつに居たら、お爺さんはニコニコしながら「や大きくなつたなあ、お正月だから、わしが小さい頃のお話を聞かせようか」とゆうから僕は「いゝから早く話して聞かしたら」とゆうと、どつとみんな笑つた。眞白なひげをさすりながらお爺さんは、ぼつりぼつりと話出した。わしが若い頃に浅川に島隠居とゆう人があつて、それは本當の名前ではなかつたのだ。名前は知らないけれど、遠い遠いどつかの島へ流されたので島隠居とゆうのだ。それには深いわけがある。今から百年あまり前浅川とゆう所は白河、岩瀬、田村、石川四郡合せて八万三千石、越後の高田城主原大輔公の御陣屋元であつた。今の小学校のある所は、その御陣屋の跡だ。城主が遠い越後の高田であるから、伊藤勘左衛門とゆう奉行が領地を治めて居たのだ。だから附近の大庄屋共は、奉行へへつらつてわがまゝをやつたものだ。庄屋などは年貢を取り立てるに耕目を大きくして、ごまかした人もある。百姓共はそれがわかつて居ても、どうすることも出来なかつた。寛政の頃だが、どうした事か、百姓が年貢で苦しんで居る所へ、春の苗代時、雷の雷雨、せつかくの苗代はみんな駄目になつた。なんでも、雨が降る、雷が吹く、あられが降る、雷が降る。家から外へ一足も出られない大あらしだつたとゆう事だ。雷の大きさは三匁からあつた。三匁つていくら」といつた三匁つて三匁さ、鳩の卵位だよなる程と思つた。百姓共はあわて、二度目の粉を下したが、俄かにのびるものではない。それに、それからとゆうものは、毎日の日照りで、田の三が一も植えられなかつた。百姓共は秋になつて年貢を納める事が出来ないからといつて庄屋共へお願いしたけれども、庄屋共はそんな事をゆうと奉行様に、どんな目にあわされるか知れない。」といつて取ついでくれなかつた。